

令和6年度の重点課題

・走力が弱い。ハッスルタイムや体育朝会、体育の授業での工夫が重要である。

・中・高学年は柔軟性が弱いため、体育の授業での工夫が重要である。

・50m走は、男子が、長座体前屈は、女子が全体的に弱い。

・小規模校なので、体力・運動能力にばらつきが大きい。個の課題に沿い、肥満傾向のある児童や体力づくりを苦手とする児童も意欲的に取り組める工夫をしていく。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○柔軟性を高めるため、体育の授業の導入部分で柔軟運動を行った。

○始業前に全校で運動を行う「ハッスルタイム」では、走力を高めるために持久走やラダートレーニングを重点的に取り組んだ。

○外部講師を活用し、走り方や跳び方等の指導を受けた。

○体育行事ではワークシートを用いて目標を設定させ、達成度の確認と振り返りを行った。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	12.50	17.00	33.50	45.00	53.75	9.65	154.75	20.00	52.50	第5学年	16.00	20.00	36.00	46.00	72.00	9.40	178.00	21.00	66.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	12.50	17.00	33.50	45.00	53.75	9.65	154.75	20.00	52.50	第5学年	16.00	20.00	36.00	46.00	72.00	9.40	178.00	21.00	66.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	100.00	0.00	0.00	0.00	第5学年	100.00	0.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 体育の授業の導入部分でのサーキットトレーニング(鉄棒、雲梯、のぼり棒)を継続して行う。
- ストレッチなど筋力や柔軟性を高める運動を準備運動に取り入れる。
- 外部講師を活用し、「走力」の向上を図る。
- ICT機器を活用し、正しい体の動かし方を見るなど視覚的な学習を行う。
- 単元に合ったワークシートを作成し、目標を設定させ、振り返りを行う。

体育の授業以外で行う取組内容

- 始業前に「ハッスルタイム」を設定し、持久走、ラダートレーニング、縄跳び、一輪車、鉄棒を実施する。
- 体育朝会で筋力や柔軟性を向上させるトレーニングを行う。
- 月に1回児童会が企画した「全校遊び」を実施する。

重点課題

情意面での課題

- 運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合は男女ともに100%である。

体力面での課題

- 男子は「握力」「上体起こし」「50m走」「ボール投げ」が令和6年度の県平均値かつ全国平均値より下回った。
- 女子は「長座体前屈」が令和6年度の県平均値かつ全国平均値より下回った。
- 男子の「握力」、女子の「長座体前屈」は県・全国平均よりも約2ポイントの差がある。

令和8年度の
重点目標値

- 「ボール投げ」「50m走」を県平均以上にする。
- 「握力」「長座体前屈」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 「長座体前屈」において、前年度以上のポイントの児童を90%以上にする。